

「うらにわがくずれた！」

福岡県 宗像市立南郷小学校 2年 内藤 理午^{ないとう りま}

2年前の大雨の後、家のうらにわのしゃめんがくずれました。さいしょはくずれていなかったのに、だんだんくずれてきて、土をささえていた木の板がたおされると、一気に土がながれてきました。その土がじゃまになって、バーベキューやプールをする場しょがせまくなってしまいました。

お父さんが、タオルを頭にまいてあせだくになりながらも、くずれてきた土をかたづけてくれたので、歩くところの土はなくなりました。しかし、雨で土がやわらかくなってくずれ、ながれてきた土に水が入っておもすぎて、木の板がなおせなくなったようでした。なので、木の板はかたづけられていないままです。

そこで、お父さんにその当時のようすをきいてみると、

「ながれてきた土を土のうぶくろに入れたら土のうぶくろが100体にもなったんよ。」

と言っていました。スコップ1回分は8キログラム、3回分が土のうぶくろ1体分だそうで、それが100体分だから、ぜんぶで2400キログラムにもなります。ぼくの体じゅうがやく24キログラムなので、ぼく100人を1人ではこんだと思うと、すごいなと思いました。2日間かけてかたづけた後、その土のうぶくろをつかって、しゃめんをかりにこていしたそうです。

「とてもつかれた。体じゅうがいたかった。」とお父さんは言っていました。

そんなお話を聞いたらふあんになりました。大雨でしん水してしまったり、大きい土しゃくずれがおきたり、家もながされてひなんする場しょとすむ場しょがなくなったりしたらとてもこまります。しかも、今回の木の板がなければもっと大きな土しゃくずれになっていたかもしれないと思うと、もっとおそろしいです。

ぼくは土しゃくずれでながれてきた土をかたづけたのを聞いて、「お父さん、よくがんばったな。こんどはぼくが手つだわなといけないな。」と思いました。かぞくいっしょにたおれたままの木の板をもどして、できれば石のかべをつくってほしいです。そして、ひなん場しょを大人の人に聞いて、ひじょう食も用いしないといけないと思いました。